

## 授業科目等の概要

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法		場所		教員		
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任
○			シューズデザイン I	基礎段階から、より具体的な素材別、アイテム別の流行に沿ったデザイン発想力を養う。	1・通年	120	4		○ ○		○		
○			シューズパターンメイキング I	基本デザインのパターン設計技術の基礎を習得する。	1・通年	180	6		○ ○		○		
○			シューズ制作実技 I	靴制作の実習を通じて基本的な裁断、製甲、底付け、仕上げの工程を理解する。 基礎的な手釣りのセメント製法の製造技術を習得し、作品サンプルづくりに活用する。	1・通年	210	7		○ ○		○		
○			シューズクリエーション	靴にまつわるアイテムを柔軟で自由に発想をしデザイン応用力の強化。	1・後期	30	1		○ ○		○		
○			シューズ素材論	靴に使用される甲材、底材、副資材や、各製法の特徴、道具としての靴型、サイズの仕組みなど、シューズデザイナーとして必要な知識を習得し、製品の仕様書を作成できるレベルを目指す。	1・前期	30	1	○		○		○	
○			靴人間工学	足と靴の良い関係を模索するための科目で足からのアプローチを主として講義を進め理解を深める。	1・後期	30	1	○		○	○	○	
○			自由研究 I	各教科目を基に、さらに高度な技術と創造性を磨く為に、個人テーマにより研究する。 ・各種コンテスト ・コラボレーション企画への参加 ・美術館、博物館等の見学 ・個人テーマによる作品制作	1・通年	60	2		○ ○		○		
○			ハンディクラフト	各種のクラフトテクニックを、エンブロイダリーと布の加工に大別し、基礎的なテクニックを幅広く学習する。 特に、帽子・バッグ・シューズ・アクセサリー等のグッズ制作に、応用することをイメージしながら実習させる。 併せて、学習したテクニックが使われている実際の商品などの資料を集め、ブックの形式で完成させる。 それにより、テクニックだけにとらわれない応用性を身につけさせる。	1・通年	60	2		○ ○		○		

○			
	デッサン		

モチーフを実際に観察して描く訓練を重ねることで、デザインイメージを他者に伝える為の基本描写能力・表現能力の習得を目的とする。デザイン画の前段階として、モチーフの構造を透視化する力・線や面による立体表現・質感表現を学び、それらの大切さを理解する。

1 ・ 通 年	60	2					○	○	○			
------------------	----	---	--	--	--	--	---	---	---	--	--	--

## 授業科目等の概要

(ファッショント工芸専門課程 シューズデザイン科) 2022年度													
分類			授業科目名	授業科目概要			授業方法		場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択		配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任
○			造形演習	1・通年	60	2			○ ○			○	
○			色彩論・演習	1・前期	30	1	○			○		○	
○			染色演習	1・後期	30	1			○ ○			○	
○			グラフィックワーク I	1・後期	30	1			○ ○			○	
○			ファッショントビジネス概論	1・後期	30	1	○			○		○	
○			シューズデザイン画 I	1・通年	60	2	○			○		○	
○			服装解剖学	1・前期	30	1	○			○		○	
○			キャリア開発	1・後期	30	1	○			○		○	

○		特別講義 I	学内外の講師による、レギュラー授業以外の講義・実習。 専門分野だけではなく、他分野の講師による講義を通して幅広い知識を得て視野を広げる。 学校生活や各業界における基本的な知識の習得。就職につながる業界の専門知識の習得。	1 ・ 通年	60	2	○			○		○
---	--	--------	---	--------------	----	---	---	--	--	---	--	---



## 授業科目等の概要

(ファッショント工芸専門課程 シューズデザイン科) 2022年度				授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所		教員		企業等との連携
分類	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任
○				シューズデザインⅡ	シューズデザイナーとして即戦力となることを目標に、シューズデザインⅠで習得した基本スタイルのデザイン理論・技術をもとに、ブーツなどの難易度の高いスタイルやスニーカーなどのデザイン手法を学び、その応用によるオリジナル課題作品の制作を通じて、高品質でオリジナリティーの高いシューズデザイン力を身に付ける。	2・通年	180	6			○ ○			○	
○				シューズパターンメイキングⅡ	シューズパターンメーキングⅠで習得した基礎的な型紙理論、設計技術を基に、ブーツ、スニーカー、モカシン、モンクストラップなど、より難易度の高い設計方法を学び、将来デザイナー職としても必要なパターンメーキング全般の知識を高める。また設計技術職での就職も視野にオリジナル課題作品の制作などを通じて即戦力になる力を身に付ける。	2・通年	180	6			○ ○			○	
○				シューズ制作実技Ⅱ	シューズ制作実技Ⅰで習得した技術をもとに、より難易度の高いブーツ、加硫スニーカーによるハンドメイキングでの作品制作を通して、それぞれの靴製作工程での重要な品質のポイントを理解し、靴業界に就職後に必要な品質を見極める力を身に付ける。また靴メーカー生産技術職への就職にも対応できる基本的な製靴技術を習得する。	2・通年	240	8			○ ○			○	
○				ラストメーキング	足型計測に基づくオリジナルラストマスター モデルを製作することで、造形の感性と表現力を磨くと共に、靴のスタイル、製法による形状の違い、フィッティングに及ぼす影響、等のラストの重要性を学ぶ。	2・前期	30	1			○ ○			○	
○				造形デザイン	ファッショント工芸科の各分野において必要とされる立体造形に関する感覚を養成し、広く様々な造形経験を通じて、造形的なセンスと構成力を研鑽することが教育目標となります。一般的な造形・デザインから発展した様々な造形行為への理解を基調に、追体験と実験的制作を通して個人の主張する表現が遂行出来ることを目指します。	2・通年	60	2			○ ○			○	
○				グラフィックワークⅡ	Photoshop・Illustrator初心者を対象とし、Photoshopでは、画像の切り抜き・合成・手描きデザイン画の着彩ができるようになることを目標とする。Illustratorでは、マップのレイアウトデザインができるようになることを目標とする。	2・通年	60	2			○ ○			○	

○		ファッション マーケティング	・マーケティングの基本を学び、市場の細分化とその特徴を理解する。 ・マーケティングのプロセスにそって、市場に適合したブランド設計を行い、目的を実現させるための戦略について学ぶ。	2 ・ 通 年	60	2	○			○		○		
○		西洋服装史	古代から近世18世紀までは、その時代背景を踏まえ美術史や映画によって服飾を解説していく。19世紀近代以降は、パリオートクチュール・ビジネスが確立し、ファッションが産業化していく過程を解説する。20世紀以降、デザイナーの時代が始まり、合わせてデザイン史、音楽史、映画史などにも触れながら、多方面からファッション史の理解を深める。	2 ・ 前 期	30	1	○			○		○		

## 授業科目等の概要

(ファッショント工芸専門課程 シューズデザイン科) 2022年度													
分類	必修 選択必修 自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所		教員		企業等との連携
							講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任
○		シューズデザイン画Ⅱ	シューズデザインワークのうえで即戦力として使えるデザイン画の習得。就職活動に活用できるポートフォリオ(作品集)作成、及び創作デザインの企画構成力を目指す。	2・通年	60	2			○ ○		○		
○		現代ファッション論	各メゾンの誕生から特徴、ポリシーなど、ハイブランドを含んだファッションブランドについての知識を深めることにより、専門科目のデザイン幅を広げ、就職後のシューズ業界でその知識を活かせるようにする。	2・後期	30	1	○			○	○		
	○	英会話	初級程度の英文法を学んだ学生を対象に、文法の復習と口頭でのアウトプットを主な目標とする。ファッションを専攻している学生を対象としているため、ファッション関連の語彙を増すこと、ファッション関連の表現に接することにも重点を置いたプログラムとしている。レベルは初級(中位)から中級まで。	2・通年	60	2	○			○	○		
○		特別講義Ⅱ	ファッション全般に渡る、トレンド情報やプロダクトデザイン。また、グッズに関わるクリエーターや企業デザイナーの仕事。特殊材料やその活用方法などの、多方面にわたる講師による講義や演習を通して、専門科目のより一層の充実を図ることを目標とする。	2・通年	30	1	○			○		○	
○		校外研修Ⅱ	企業訪問、工場見学、美術工芸品の見学や歴史的文化にふれることにより、感性を磨き豊かな創造性と深い知識を養う。	2・通年	30	1			○	○ ○			
	○	インターンシップⅡ	就業体験を通して、実践の現場から業界の仕事の内容を確認し、働くことの厳しさや社会人としてのマナーを身につけると共に、希望する業種、職種と合致しているかを確認し、就職に対する意識の向上をはかる。	2・通年	30	1			○	○			

○	卒業研究・創作	<p>学校での学びの集大成として卒業作品の制作と展示発表。</p> <p>各自テーマ、コンセプトを考え、3年間学んできたデザイン、パターン、製靴技術を駆使し、オリジナルシューズ3足の組作品として制作する。年度末に、帽子デザイン科、ジュエリーデザイン科、バッグデザイン科の学生と合同で卒業作品展示を企画し、各自決められた空間に、作品テーマに沿ったディスプレイを完成させる。卒業展示会の準備、広報、搬入、搬出、記録まで学生全員で役割分担して行い、展示期間中は当番制で会場に立ち、来場者に作品説明などを行うことによって、将来デザイナーとして商品コンセプトやアピールポイントをお客様に伝えるスキルと重要性を学ぶ。作品テーマの表現力、制作日程管理、作品の完成度、評価する。</p>	2 ・ 後 期	120	4	○	○	○			
---	---------	---	------------------	-----	---	---	---	---	--	--	--

合計	12科目	1110単位時間( 37単位)
総合計	31科目	2310単位時間( 77単位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件： 最終学年の修了、卒業必須単位数の取得	1学年の学期区分	2期
履修方法： 単位の取得、出席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。